

<実施事業所 報告>

## インターンシップの学生さんと共に

### 「受入れ事業所：ホテル業」



#### 1. はじめに

弊社は昭和57年創業以来、全国各地、海外からお越しになられる多数のお客様のご宿泊や、ご宴会・お会議・結婚式場を備えた都市型総合ホテルでございます。

ホテル業はサービス業の中でも特に、おもてなしの心を忘れてはならないホスピタリティ産業であります。インターンシップの学生さんと共に、研修に携わる社員も初心に戻り、成長し続けなければならないと考えております。

#### 2. 研修概要

- (1) 研修期間：平成27年8月11日～8月14日までの4日間
- (2) 受入人数：5名
- (3) 受入部署：宿泊営業部・料飲営業部（宴会・婚礼）・レストラン・営業部
- (4) 研修内容：宿泊予約・宴会サービス・レストラン業務・ブライダルプランナー業務  
企画・広告宣伝・総務人事

#### 3. 学生からの声

インターンシップ初日に、「ホテルやブライダル業界の印象が変わり、大変そうだなという方向に変わってしまう人もいる」というお話がありましたが、今回のインターンシップ全体を通して、大変な分だけ達成感もすごいのだろうという魅力をより感じました！！

ホテルや専門式場では同じ結婚式でもやり方が大きく違うようなので、自分がどこでどんな結婚式を作っていきたいのか就職活動本番までにじっくり考えていこうと思いました。

#### 4. おわりに

ホテルには様々な仕事内容があり、その部門で必要なスキルがたくさんあります。ホテル業界を希望される場合、ホテルのどの部門で働いてみたいかを知り、今回の研修が参考になれば幸いです。しかし、希望の部門に入社できたとしても、適応能力がなければすぐに異動になります。異動になった部門が好きではないから辞めるといった形にならないように、ホテルそのものに魅力を感じ、興味をもって頂くことが大切だと思います。ホテルは人と人との繋がりを大切にし、お客様を笑顔にするお仕事です。私共スタッフもこの研修を通じて、たくさんの学生さんと繋がれたことに感謝しております。

<実施事業所 報告>

## インターンシップを通じて

### 「受入れ事業所：業務請負会社」



1. はじめに 当社は周南市に本社を置き、山口県内初のビルメンテナンス企業として1957年に創業した会社です。お客様の繁栄と幸福を実現していくことを理念に掲げ、ビルメンテナンスだけに留まらず発展を遂げてきました。現在では設備管理、警備業、受付、電話交換、ナースエイド、コンシェルジュ、医療事務等多岐にわたる請負業務を行っており、また経済産業省の「おもてなし経営企業選」にも選出されるなど高い評価を得ています。

2. 導入目的 (1)企業を通じた社会体験で学生の人間成長の糧としてもらうこと。(2)地域学生へ企業、社会の具体的なイメージを伝え就職活動の参考としてもらうこと。(3)学生が持つ企業イメージを知り、地域企業としての在り方を検証すること。(4)BtoB 企業であり知名度の低い当社を少しでも学生に認知してもらうこと。

3. 受入体制 平成26年8月25日(月)から29日(金)までの5日間。総務部、企画部、SQC管理室、徳山営業所に対応。

4. 実習内容 企業理念、企業概要、社内教育、品質管理等の座学。清掃、受付業務の現場実習。人間教育を目的とした研修への参加。

ビルメンテナンス業として始まった当社にとって、清掃現場の業務を理解してもらうことは重要なのですが、それと同じ程度に現場を運営・管理するための企業活動も重要です。そこを理解してもらいたいと考え、複数の研修の場を設けました。

商品として目に見える物のある製造業や小売業と違い、当社が提供するサービスは労務の提供であり形としては残りません。その点では学生も業務の実態を把握し辛かったかもしれません。

5. 問題点・改善点 請負業という社業の性質上、現場には常にお客様がいらっしゃるため業務の一部しか体験、経験させられなかった点が課題です。

6. 学生からの声 「企業が生き残るためには顧客から信頼されることが大切で、どんなに良い品を提供しても社会人としてのマナーや礼儀がきちんとしていなければ、成り立たないものだと感じました」「5日間で笑顔、マナー、そして親孝行の大切さを改めて感じる事が出来ました。」当社では清掃、警備、受付等の労務サービスを提供していますが、その際に一番必要なことを学生が感じ取ってくれたことは非常に嬉しく感じています。

<実施事業所 報告>

## インターンシップから学ぶ事

### 「受入れ事業所：広告・イベント・ デザイン業」



当社では、毎年、インターンシップの学生さんの受け入れをさせて頂いております。少しでも地元の学校のお役に立てるならと受け入れを始めたインターンシップですが、今では、会社全体が大変良い刺激を頂き、1年の中で、大変有意義な1週間となっております。

昨年、教育学部で教員志望の方がインターンシップに来られました。教員志望なのに、何故、民間企業にインターンシップに来るのかと聞いた所、教育実習に行き、実習最終日に先生から次の様に言われたそうです。

「一般企業は自身の為に働くが、教員は子どもの為に働く。だから大変だけどやりがいがある！」その方は、民間企業も実際に体験し、その言葉を実際に確かめたく、インターンシップ参加を決意したとの事でした。

インターンシップ初日のオリエンテーションの中で、その事についてどう思うかを私にも質問してこられました。私も私なりに精一杯自分の考えを述べさせて頂きました。私は、全ての仕事は社会の為に存在していると思っております。社会、人々に必要とされているからこそ、仕事として業務として成り立つのであると思っております。反対に、社会に必要とされなくなると、存在価値が無くなってしまいうものだと思っております。働く、仕事をするという事は、何れであれ社会の為に役立つことだと話をしました。インターンシップを終え「働くということ」と題しレポートを送ってくれました。

その一部を転載させて頂きます。

『私は株式会社〇〇で4日間企業の体験をさせて頂きました。その中で最も学んだ事は、企業も人（地域）の為に働いているという事です。営業部の方につかせて頂いた時、お客様が喜ばれる様な学校や地域のイベントを様々な会社と協力して考えており、普段何気なく参加しているお祭りやフェスタなどのイベントの裏には大変な努力と願いがあるのだなと感じました。（中略）今までは、利益を得るためにお客様の要望に応えるのだと思っておりましたが、お客様の要望に応えたいという想いや成果が利益に繋がっていくと体験を通して学ぶ事が出来ました。（中略）インターンシップで学んだ事は、将来教員になる上でも必要であると感じました。そして、どんな仕事であっても、人の為に働く事が前提になるという気持ちを大切にしていきたいなと思っております。』

大変嬉しいレポートを頂戴しました。将来、立派な先生になって頂きたいと思っております。普段、何気なく毎日仕事をしていると大切な事を見失いそうになることもあります。そんな時に、インターンシップはとても良い刺激を与えてくれます。

今後も社員一同、初心忘れることなく、邁進して参りたいと思っております。

<実施事業所 報告>

## 山口県でも

### 実践型インターンシップを！

#### 「受入れ事業所：観光サービス業」



<記念館>

<導入目的>

施設運営に若いエネルギーを入れ込み組織を活性化。学生のキャリア教育につながる事での地域貢献。更に、インターン生が留学生という事でホームステイによる国際交流。

<実習内容>

- (1) 新聞社企画のこども向けツアーの受入れサポート
- (2) キャンプ場のお客様資料の英訳
- (3) 記念館、水族館の受付業務等

<導入効果>

日本語と英語が堪能で性格も明るく元気な女子生徒で何でも一所懸命に行う事で、事業所内が明るく前向きな雰囲気になった。

<問題点・改善点>

インターンシップとは何のために行うのか。「単位のため？就活のため？」。企業・学校・学生の三者にとって価値のあるインターンシップを新たに構築したい。学生にとってはキャリア形成の場、企業にとっては新プロジェクトを担う人材として実践的なインターンシップ。短期で1ヶ月、長期で休学し1年間といったインターンシップが東京では既に普及している。県内にいながら実力を高められるプログラムづくりへ発展させるべき。



水族館

<学生からの声等>

島でホームステイしながら地元の祭り等にも参加でき通常のインターンシップでは得られない経験となった。



キャンプ場

<実施事業所 報告>

## 就業体験で得るもの

### 「受入れ事業所：印刷・製本業」



当社の主な事業内容としては印刷・製本業になるのですが、関わる作業は営業から始まり、企画・デザインから生産、発送まで、またホームページ制作等 Web 事業もあります。

当社は以前から学生の研修を受け入れております。今年度、本社ではデザイン部でインターンシップを実施しました。その他にもメディア事業部やグループの企画イベント事業やコミュニティ FM 放送事業でも受入れを行っています。地域、特に次世代を担う若者に対して貢献できる企業として、また印刷物という日頃多くの人が接する媒体を作っている企業として、少しでも社会貢献ができ、また企業アピールにも繋がっていくものと考えています。

■受入体制について：本社の場合は総務課が窓口ですがメディア事業部、企画イベント事業、コミュニティ FM 放送事業での受入れは夫々の窓口で行なっています。今年度は本社で4人、メディア事業部で8人、企画イベントで1人、コミュニティ FM で2人です。受入期間は1~2週間程度、カリキュラムは各部門で作成し研修実施します。因みに本社はデザイン課で研修、メディア事業部は編集部で編集・営業補助等、企画イベントでは企画の補助等、コミュニティ FM では地域番組放送等、で研修をしました。

■実習内容について：(一例 本社デザイン課の研修内容)

デザイナー志望の学生：年賀状・手帳のデザイン等 (ターゲットや目的に合わせた制作指導)

Web 志望の学生：ページ構成の作成・トップページレイアウト作成等 (Web 制作の基本的な考え方)

■効果について：学生にとっては、学校で習ったことやおそらく想像していたレベルを超える体験ができること、すなわち「ギャップ」を感じるこそが正に就業体験となります。職業として生活していくことの意味、プロとしての仕事を身近に感じる事が最大の効果だと思います。

また、受入側としても担当者は指導力が必要となりますし、業務における基本的な事柄や仕事の楽しさをいかに伝えられるかがポイントになります。

■問題点について：受入には担当者の配置が必要となります、繁忙期は外していただいているもの実際には業務への影響も出てきます。また、学生の習ってきている内容も個々には違いがありますので、極力その学生にあったカリキュラムとなるように工夫はしています。したがって受入人数が多くなりすぎると、本来の趣旨から逸れ、受入側もただ単に「消化する」になる危険性もあります。

■学生からの声：最終日には感想を聞いていますし、ほとんどの学生からは事後お礼状をいただいています。学校では学ぶことのできないこと、すなわち実際に職場の中に入ってみなければわからないこと、発見があること、スピード感の違い、多くの人がいても様々な工程で一人一人欠くことのできない役割があること等、我々にとっても参考になる感想が寄せられています。

■期待・要望：最も大事なことは学生がいかに目的意識をもって臨めるか、言い換えれば相応しい学生を送り出していきたいことです。また、もうすぐ社会人になる人としてマナー等が守れることは当然です。このような事を学ぶためにインターンシップには参加して欲しいと思います。